

2019年度(4/1~)

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔4月14日現在〕

3/31(日)までは7時間実施。4/1(月)より1時間増え28時間実施。

通し番号		1		2		3		4	
出力制御内容	発信日	3/31(日) 16時頃 (前日指示)	4/1(月) 実績 (速報)	4/1(月) 16時頃 (前日指示)	4/2(火) 実績 (速報)	4/2(火) 16時頃 (前日指示)	4/3(水) 実績 (速報)	4/3(水) 16時頃 (前日指示)	4/4(木) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	4/1(月) 8時00分~16時00分	4/1(月) 8時00分~16時00分	4/2(火) 8時00分~16時00分	4/2(火) 8時00分~16時00分	4/3(水) 8時00分~16時00分	4/3(水) 8時00分~16時00分	4/4(木) 8時00分~16時00分	4/4(木) 8時00分~16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時30分 5	12時30分 5	12時00分 5	13時00分 5	12時00分 5	12時00分 5	12時00分 5	12時00分 5
	再エネ出力制御量	115	99	129	100	138	72	169	126
	〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	[17%]	[13%]	[18%]	[14%]	[23%]	[14%]	[22%]	[16%]
予想需給状況	エリア需要 ^(注2) ①	930	964	920	971	920	974	900	935
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	226	184	226	109	226	128	226	164
	域外送電 ^(注4) ③	243	243	243	243	234	232	234	233
	小計	1,399	1,391	1,389	1,323	1,380	1,334	1,360	1,332
	供給力 ^(注5) ④	1,514	1,490	1,518	1,423	1,518	1,406	1,529	1,458
	(再掲)再エネ出力	(784)	(712)	(778)	(632)	(786)	(645)	(786)	(716)
再エネ出力制御必要量 (⑤=①+②+③-④) ⑤	115	99	129	100	138	72	169	126	

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定

(参考) 2月末設備量 895万kW(太陽光:844万kW、風力:51万kW)

(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3) 揚水発電所を最大限活用

(注4) 関門連系線を最大限活用し、域外へ送電

(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6) 当日見直しがあった場合は、速やかにお知らせ

(注7) 実績(速報)は制御量最大となる時間帯

(注) 再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

3/31(日)の域外送電
202万kwに対して
増加。

2018年度の26回はすべて
「226万kw」と最大限活用していた。

なぜ、実施分が少なかったのか?

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔4月14日現在〕

4/5(金)なし
↓

比率、過去最高、38%。

通し番号		5		6		7		8	
出力制御内容	発信日	4/5(金) 16時頃 (前日指示)	4/6(土) 実績 (速報)	4/6(土) 16時頃 (前日指示)	4/7(日) 実績 (速報)	4/7(日) 16時頃 (前日指示)	4/8(月) 実績 (速報)	4/8(月) 16時頃 (前日指示)	4/9(火) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	4/6(土) 8時00分～16時00分	4/6(土) 8時00分～16時00分	4/7(日) 8時00分～16時00分	4/7(日) 8時00分～16時00分	4/8(月) 8時00分～16時00分	4/8(月) 8時00分～16時00分	4/9(火) 8時00分～16時00分	4/9(火) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 13時00分	12時30分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 13時00分
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	248 [37%]	197 [30%]	253 [38%]	257 [38%]	196 [27%]	136 [17%]	129 [25%]	68 [13%]
	予想需給状況	エリア需要 ^(注2) ①	810	834	760	740	860	878	850
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	226	152	226	139	226	160	226	220
	域外送電 ^(注4) ③	195	193	195	193	243	241	243	243
	小計	1,231	1,179	1,181	1,072	1,329	1,279	1,319	1,335
	供給力 ^(注5) ④	1,478	1,376	1,434	1,329	1,524	1,415	1,448	1,403
	(再掲)再エネ出力	(783)	(702)	(736)	(650)	(781)	(689)	(706)	(671)
	再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④ ⑤	248	197	253	257	196	136	129	68

域外送電が減少。

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考)2月末設備量 895万kW(太陽光:844万kW、風力:51万kW)
(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3)揚水発電所を最大限活用
(注4)関門連系線を最大限活用し、域外へ送電
(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6)当日見直しがあった場合は、速やかにお知らせ
(注7)実績(速報)は制御量最大となる時間帯
(注)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
[4月21日現在]

4/10 (水) ↓
4/11 (木) なし。

4/16 (日) なし。
↓

通し番号		9		10		11		12	
出力制御内容	発信日	4/11(木) 16時頃 (前日指示)	4/12(金) 実績 (速報)	4/12(金) 16時頃 (前日指示)	4/13(土) 実績 (速報)	4/14(日) 16時頃 (前日指示)	4/15(月) 実績 (速報)	4/15(月) 16時頃 (前日指示)	4/16(火) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	4/12(金) 8時00分～16時00分	4/12(金) 8時00分～16時00分	4/13(土) 8時00分～16時00分	4/13(土) 8時00分～16時00分	4/15(月) 8時00分～16時00分	4/15(月) 8時00分～16時00分	4/16(火) 8時00分～16時00分	4/16(火) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分	11時30分 ∩ 12時00分	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕(注1)	152 [22%]	102 [14%]	69 [12%]	90 [12%]	155 [24%]	143 [22%]	73 [12%]	47 [6%]
	エリア需要(注2) ①	880	928	770	859	838	893	880	910
予想需給状況	大容量蓄電池の充電・揚水運転(注3) ②	226	91	226	184	226	169	226	182
	域外送電(注4) ③	243	241	194	195	243	237	243	240
	小計	1,349	1,260	1,190	1,238	1,307	1,299	1,349	1,332
	供給力(注5) ④	1,501	1,362	1,259	1,328	1,462	1,442	1,422	1,379
	(再掲)再エネ出力	(759)	(603)	(566)	(638)	(728)	(729)	(681)	(653)
再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④ ⑤	152	102	69	90	155	143	73	47	

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考)2月末設備量 895万kW(太陽光:844万kW、風力:51万kW)
(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3)揚水発電所を最大限活用
(注4)関門連系線を最大限活用し、域外送電
(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6)当日見直しがあった場合は、速やかにお知らせ
(注7)実績(速報)は制御量最大となる時間帯
(注)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

予見
135万kW
も少ない

4

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔4月27日現在〕

4/17 (水) 止
↓

通し番号		13		14		15		16	
出力制御内容	発信日	4/17(水) 16時頃 (前日指示)	4/18(木) 実績 (速報)	4/18(木) 16時頃 (前日指示)	4/19(金) 実績 (速報)	4/19(金) 16時頃 (前日指示)	4/20(土) 実績 (速報)	4/20(土) 16時頃 (前日指示)	4/21(日) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	4/18(木) 8時00分～16時00分	4/18(木) 8時00分～16時00分	4/19(金) 8時00分～16時00分	4/19(金) 8時00分～16時00分	4/20(土) 8時00分～16時00分	4/20(土) 8時00分～16時00分	4/21(日) 8時00分～16時00分	4/21(日) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕 ^(注1)	133 [20%]	121 [15%]	155 [22%]	116 [15%]	241 [38%]	203 [30%]	250 [35%]	225 [29%]
予想需給状況	エリア需要 ^(注2) ①	870	928	880	929	820	855	800	791
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	226	157	226	128	226	152	226	169
	域外送電 ^(注4) ③	243	235	243	241	195	191	195	194
	小計	1,339	1,320	1,349	1,298	1,241	1,198	1,221	1,154
	供給力 ^(注5) ④	1,472	1,441	1,504	1,414	1,482	1,401	1,471	1,379
	(再掲)再エネ出力	(730)	(713)	(752)	(685)	(784)	(708)	(775)	(699)
再エネ出力制御必要量 (⑤=①+②+③-④) ⑤	133	121	155	116	241	203	250	225	

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考)3月末設備量 904万kW(太陽光:853万kW、風力:51万kW)
(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3)揚水発電所を最大限活用
(注4)開門連系線を最大限活用し、域外へ送電
(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6)当日見直しがあった場合は、速やかにお知らせ
(注7)実績(速報)は制御量最大となる時間帯
(注)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
[5月13日現在]

4/23(火)・4/24(水)・4/25(木)なし

速報時「0」

通し番号		17		18		19		20	
出力制御内容	発信日	4/21(日) 16時頃 (前日指示)	4/22(月) 実績 (速報)	4/25(木) 16時頃 (前日指示)	4/26(金) 実績 (速報)	4/26(金) 16時頃 (前日指示)	4/27(土) 実績 (速報)	4/27(土) 16時頃 (前日指示)	4/28(日) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	4/22(月) 8時00分～16時00分	4/22(月) 8時00分～16時00分	4/26(金) 8時00分～16時00分	4/26(金) 8時00分～16時00分	4/27(土) 8時00分～16時00分	4/27(土) 8時00分～16時00分	4/28(日) 8時00分～16時00分	4/28(日) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 5	12時00分 5	12時30分 5	10時00分 5	12時00分 5	12時30分 5	12時00分 5	10時30分 5
		12時30分	12時30分	13時00分	10時30分	12時30分	13時00分	12時30分	11時00分
	再エネ出力制御量 [再エネ接続量に対する比率] (注1)	164 [28%]	86 [17%]	30 [5%]	0 [0%]	210 [28%]	155 [18%]	97 [17%]	42 [9%]
予想需給状況	エリア需要 (注2) ①	880	941	820	921	790	845	710	732
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 (注3) ②	226	84	258	3	258	201	258	132
	域外送電 (注4) ③	243	243	243	254	195	193	147	190
	小計	1,349	1,268	1,321	1,178	1,243	1,239	1,115	1,054
	供給力 (注5) ④	1,513	1,354	1,351	1,178	1,453	1,394	1,212	1,096
	(再掲)再エネ出力	(752)	(592)	(581)	(323)	(798)	(762)	(558)	(461)
再エネ出力制御必要量 (注5)=①+②+③-④ ⑤	164	86	30	0	210	155	97	42	

(注1) 最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考) 3月末設備量 904万kW (太陽光: 853万kW、風力: 51万kW)
(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3) 揚水発電所を最大限活用
(注4) 関門連系線を最大限活用し、域外へ送電
(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6) 当日見直しがあった場合は、速やかにお知らせ
(注7) 実績(速報)は制御量最大となる時間帯
(注) 再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

4月 30日中 20回実施

未実施日 4/5(金), 4/10(水), 4/11(木)
(10日) 4/14(日), 4/17(水), 4/23(火)
4/24(水), 4/25(木), 4/29(月), 4/30(水)

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土 $\frac{4}{29}$ (月)・ $\frac{4}{30}$ (火)・ $\frac{5}{1}$ (水)なし
 2019年度実績
 [5月13日現在]

通し番号		21		22		23		24	
出力制御内容	発信日	5/1(水) 16時頃 (前日指示)	5/2(木) 実績 (速報)	5/2(木) 16時頃 (前日指示)	5/3(金) 実績 (速報)	5/3(金) 16時頃 (前日指示)	5/4(土) 実績 (速報)	5/4(土) 16時頃 (前日指示)	5/5(日) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	5/2(木) 8時00分～16時00分	5/2(木) 8時00分～16時00分	5/3(金) 8時00分～16時00分	5/3(金) 8時00分～16時00分	5/4(土) 8時00分～16時00分	5/4(土) 8時00分～16時00分	5/5(日) 8時00分～16時00分	5/5(日) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分	13時00分 ∩ 13時30分	12時00分 ∩ 12時30分	11時30分 ∩ 12時00分	12時00分 ∩ 12時30分	12時30分 ∩ 13時00分
	再エネ出力制御量 [再エネ接続量に対する比率] (注1)	226 [30%]	189 [24%]	208 [32%]	190 [29%]	208 [27%]	173 [22%]	217 [33%]	129 [17%]
	再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④	226	189	208	190	208	173	217	129
予想需給状況	エリア需要 (注2) ①	737	785	702	756	692	739	717	755
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 (注3) ②	258	130	258	169	258	214	258	211
	域外送電 (注4) ③	194	193	189	186	189	187	189	189
	小計	1,189	1,108	1,149	1,111	1,139	1,140	1,164	1,155
	供給力 (注5) ④	1,415	1,297	1,357	1,301	1,347	1,313	1,381	1,284
	(再掲)再エネ出力	(760)	(681)	(721)	(684)	(720)	(689)	(750)	(677)

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
 (参考) 3月末設備量 904万kW (太陽光: 853万kW、風力: 51万kW)
 (注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
 (注3)揚水発電所を最大限活用
 (注4)閘門連系線を最大限活用し、域外送電
 (注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
 (注6)当日見直しがあった場合は、速やかにお知らせ
 (注7)実績(速報)は制御量最大となる時間帯
 (注)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

5/9(木)なし

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
[5月13日現在]



[万kW]

通し番号		25		26		27		28	
出力制御内容	発信日	5/5(日) 16時頃 (前日指示)	5/6(月) 実績 (速報)	5/6(月) 16時頃 (前日指示)	5/7(火) 実績 (速報)	5/7(火) 16時頃 (前日指示)	5/8(水) 実績 (速報)	5/9(木) 16時頃 (前日指示)	5/10(金) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	5/6(月) 8時00分～16時00分	5/6(月) 8時00分～16時00分	5/7(火) 8時00分～16時00分	5/7(火) 8時00分～16時00分	5/8(水) 8時00分～16時00分	5/8(水) 8時00分～16時00分	5/10(金) 8時00分～16時00分	5/10(金) 8時00分～16時00分
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 5	14時00分 5	12時00分 5	12時30分 5	12時00分 5	12時00分 5	12時30分 5	12時00分 5
	再エネ出力制御量	144	54	96	102	66	55	57	57
	[再エネ接続量に対する比率] (注1)	[29%]	[16%]	[12%]	[12%]	[10%]	[8%]	[9%]	[8%]
予想需給状況	エリア需要 (注2) ①	737	793	842	877	907	884	907	928
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 (注3) ②	258	104	258	202	258	174	258	110
	域外送電 (注4) ③	194	126	235	233	235	234	235	233
	小計	1,189	1,023	1,335	1,312	1,400	1,292	1,400	1,271
	供給力 (注5) ④	1,333	1,077	1,431	1,414	1,466	1,347	1,457	1,328
	(再掲)再エネ出力	(697)	(389)	(730)	(733)	(733)	(634)	(727)	(617)
再エネ出力制御必要量 (注5)=①+②+③-④ ⑤	144	54	96	102	66	55	57	57	

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考)3月末設備量 904万kW(太陽光:853万kW、風力:51万kW)
(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3)揚水発電所を最大限活用
(注4)関門連系線を最大限活用し、域外送電
(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6)当日見直しがあった場合は、速やかにお知らせ
(注7)実績(速報)は制御量最大となる時間帯
(注)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

5/13(月)より未実施

対象エリア：九州エリア 本土
2019年度実績
〔5月13日現在〕



[万kW]

通し番号		29		30				
出力制御内容	発信日	5/10(金) 16時頃 (前日指示)	5/11(土) 実績 (速報)	5/11(土) 16時頃 (前日指示)	5/12(日) 実績 (速報)			
	再エネ出力制御期間	5/11(土) 8時00分～16時00分	5/11(土) 8時00分～16時00分	5/12(日) 8時00分～16時00分	5/12(日) 8時00分～16時00分			
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 }	12時00分 }	12時00分 }	12時00分 }			
	再エネ出力制御量 〔再エネ接続量に対する比率〕(注1)	122 [17%]	85 [12%]	194 [31%]	162 [26%]			
予想需給状況	エリア需要(注2) ①	867	898	797	833			
	大容量蓄電池の充電・揚水運転(注3) ②	258	149	258	182			
	域外送電(注4) ③	194	194	194	193			
	小計	1,319	1,241	1,249	1,208			
	供給力(注5) ④	1,441	1,326	1,443	1,370			
	(再掲)再エネ出力	(753)	(649)	(755)	(683)			
再エネ出力制御必要量 (5)=①+②+③-④ ⑤	122	85	194	162				

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定
(参考)3月末設備量 904万kW(太陽光：853万kW、風力：51万kW)
(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要
(注3)揚水発電所を最大限活用
(注4)関門連系線を最大限活用し、域外へ送電
(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制
(注6)当日見直しがあった場合は、速やかにお知らせ
(注7)実績(速報)は制御量最大となる時間帯
(注)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応



玄海3号機
(出力 118万kW)
停止・定期検査へ
5月13日(月)